

平成27年4月定例教育委員会 会議録

1 開催期日 平成27年4月23日(木)

開会 午前10時00分

閉会 午前11時50分

2 開催場所 役場 2階 会議室

3 出席者名 委員長 諸 橋 志津子

委員 不二井 悟 史

委員 宮 下 静 子

委員 原 田 光 雄

委員(教育長) 布 施 東 雄

局 長 岡 本 伊佐夫

次 長 宮 本 浩 司

係 長 朝 倉 恵 子

4 議 件

報告第 5号 学校図書支援員の任命について

報告第 6号 子どもと親の相談員の任命について

報告第 7号 特別支援教育支援員の任命について

報告第 8号 学校 ICT 教育支援員の任命について

報告第 9号 学校英語教育支援員の任命について

報告第10号 穴水町立小中学校臨時的校務員の任命について

報告第11号 穴水町奨学生選考委員会委員の委嘱について

報告第12号 穴水町就学指導委員会委員の委嘱について

報告第13号 穴水町立公民館長の任命について

報告第14号 穴水町立公民館地域担当主事の委嘱について

報告第15号 穴水町立公民館臨時的職員の任命について

報告第16号 穴水町立図書館長の任命について

報告第17号 能登中居鋳物館臨時的職員の任命について

報告第18号 穴水町社会教育委員の委嘱について

報告第19号 穴水町立公民館運営審議会委員の委嘱について

報告第20号 穴水町立図書館協議会委員の委嘱について

報告第21号 能登中居鋳物館運営委員会委員の委嘱について

報告第22号 穴水町青少年問題協議会委員(兼豊かな心を育む穴水町民会議委員)
の委嘱について

報告第23号 穴水町青少年育成センター育成員の委嘱について

報告第24号 穴水町男女共同参画推進委員会委員の委嘱について

5 議事の経過について

事務局の進行により、前会議録の承認を得た後、教育長から、町見守り隊との対面式についての報告、学びの組織的実践事業についての報告、全国学力テストについての報告、県教育長会議についての報告があり、会議録署名員に不二井委員及び布施教育長を指名し、承認されました。

審議に入り、報告第5号から報告第24号について説明があり、質疑応答が行われ、承認されました。次に、5月の定例教育委員会の開催期日を5月28日（金）午後2時と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

4月 定例教育委員会議事録

ー 委員長挨拶 ー

4月1日より新年度に向けて町行政並びに学校現場が始動しています。今、春爛漫で、戸外でも、教室内でも、事務所内でも、仕事のしやすい頃かと思えます。

今週に入り全国学力テストが行われました。県内では、公表する・しないが、新聞、ニュースで賑わっているが、公表するはニュースバリューとしてはよいが、本来の学力テストの目的をしっかりとって、子どもたちが指導要領に記されているその確かな学力を身に付けているかどうか、子どもたちが全人的な人格形成に向けて歩んでいるかどうか、の最終的な目標を、町教委としても、如何なる方法、如何なる財政的な裏打ちから支援していくか、プログラムを組んでいくかが、私たち教育委員の責務であると感じます。

昨年度の結果は石川県が全国3位という結果でしたが、冊子を見ていますと、「教育の日」は富山県や福井県、新潟県にはないのです。しかし学力が高いというのは、相関関係はないのかと思いました。

学校にあっては、3校とも、かなりの人事異動があったかと思いますが、ぜひ教員にとっては、教育は夢や希望を語るものであってほしいと思うし、そのために児童生徒と意思疎通を十分にして、教員の人間的魅力を十分に児童生徒たちとわかりあえる学級経営であってほしいのです。また大人である私たちも、学び続けるということで、子どもたちにその姿を見せていきたいです。

本年度は、穴水町教育振興基本計画が見直しの季節となりました。到達度や業績評価の総括をし、教育委員会事務局、また教育委員にとっても、次年度に向けての教育目標、或いは児童生徒の今の姿を思い浮かべながら、ニーズにあったものを取り入れた改革の見直しが必要かと思えます。今年度一年、見直しという大きな目標を、皆さんと共に手を携えて、進んでいきたいと思っています。

ー 教育長報告 ー

新しい年度がスタートしました。先日は向洋小学校、昨日は穴水小学校に、見守り隊との対面式で学校を訪問しました。校長先生からは、良い状況で新年度のスタートがきれ、教職員も、児童たちも、落ち着いて授業を展開しているとのことでした。確かに児童たちは、目ををきらきらさせて私の話を聴き、例年にない落ち着いた1年生だという感想を持ちました。

県基礎学力テスト、全国学力テストが、一斉に行われ、滞りなく終了しました。本年度から新しく「学びの組織的実践推進事業」がスタートしました。県下で20校を拠点校に指定、それに伴う連携校を2、3校指定して研究するというもので、穴水町では、穴水中学校を拠点校として、穴水、向洋両小学校が連携校で付くという形です。拠点校指導員が県内で5名指名され、各地域で3～4校指導にあたる、というものです。

能登2市2町を、川端正則先生が再任用という形で指導にあたります。奥能登の拠点校指導員で、4校を回るというものです。指導力向上チェックリストを作り、拠点校と連携校との取組みを指導します。組織的というのは、教員の組織を意思を統一して取り組むだけではなく、ありとあらゆるものをそれに向けて統一して、学校に関係する全ての人で組織を作る。県の目標は、学力向上なのでしょうが、穴水町では、私は「生徒の学習規律を先ずしっかりしなさい。」と取り組んできましたが、成果が出てきていると感じています。初任当初は、立ち歩いたり、隣や後ろを向く、物を投げたりがありましたが、現在はそのような生徒は見なくなりました。見守り隊においても、挨拶をする、お世話になった方に感謝をする、これが範囲を広げると、ふるさと教育で各地域に出掛け、人間性を磨く、地域の人たちを知る、わかる、穴水町の組織をそういう観点で、図書館も公民館も含めて作っていかなければならないのです。今年は県での発表はないが、来年研究2年目から発表や連絡協議会を立ち上げます。

学力テストは、一番の授業改善の手立てでもあり、県ではデータにするのです。マスコミからは、昨年は穴水町は公開しない、ということであったが、今年はどうするのか、とすでに問い合わせがありました。現在は検討中との回答ですが、一方では、県が全県下の状況を言葉で発表をするという実態があるので、皆さんで検討していきたいと思います。

今年は中学校の教科書の改訂です。教育再生実行会議では5月に首相に提言しますが、教科書を全てデジタル教科書にするかどうかというものです。インフラや諸々を国でするのか、各自治体でするのか、がわかりません。改革のスピードの早さがとても早いです。穴水町も大量に要求したが、昨年度は殆ど通らなかったです。私は、主要5科目は必要と思います。が、財政上通らない。非常に高額なのですが、工夫の余地はあります。実態はどうか、というと、ICT支援員がスキャナーでデータを取り込み、電子教科書化するというのが実態です。せめて社会、理科、最低それぐらいはしてあげたいのですが。小さい自治体にとっては非常に厳しいということは理解の上で、総合教育会議では、お互い腹を割って、そういうところを詰められれば良いかと思っています。出来るところをしっかりとやっていければ良いかと思っていますので、少しずつ出来るところをしっかりとやっていきたいです。

県教育長会議がありました。学力向上対策や土曜授業のことが議題に上がりました。土曜授業は、金沢市は取り組み、津幡町では少しだけ取り組み、輪島市は従来どおり、志賀町は今年から取り入れるということですが、穴水町教育委員会事務局が行っているふるさと教育では、授業ではなく「土曜学習」となります。教育委員会としての学力向上対策は、学校の支援が主であるので、ICT支援や英語教育支援を頑張ってやっていきたいと思います。全然取り組んでないところも5か所ほどあります。

大きな金沢市では、参加できない児童生徒が出てくるということもあります。評価に入れるとなると大変なことになります。学童等の関係で、月1回でもままならない、保護者の感覚も違うし、上部に繋がっている予選や試合があつたりで、なかなか出てこられないという大きな課題です。大きいところから取り組んでいただかないとずれが出ますが、課題は、各自治体でやらなければならない、ということです。以前から予想された課題であったのですが、いかに工夫してやるか。時期に応じてずらす等がありますが、概ね小学校で10回、中学校で7回実施しています。穴水町校長会では、年間10回やっつどの様な効果があるのか、長期休業中にやるのでプランを出してほしいと言いますと、夏休みのプールのある日に、午後授業をやって帰宅させる、というのを10回以上やっているし、春休みには補習を兼ねてできる、その方が効果があるのではないか、ということです。

諸橋委員長 デジタル教科書の件ですが、私立学校であれば既にあるという所もあるが、国から県に話がきていないのか。

教 育 長 指導主事の自治体派遣も、5万人以上の市町村に限るという方針。石川県はまだ手厚いが、

主事がないのは、穴水町と宝達志水町だけです。新教育委員会制度になると、主事を入れていただかないと動けないので、教育総合会議の中で徐々に話していかなければならない、と思います。

原田委員 デジタル教科書とは、少し想像ができないのですが。

教育長 中教審に諮問するが、デジタル教科書も無償になるのか、しかし通信費がかかります。

原田委員 イメージができません。活字の活用というのは、とても大切だと思うが。また、理科であれば、現場で見えて得る効果がとても大切と考えますが。

教育長 くいつきはよいが、使いこなせないとならない。あればよいのではなく、教員も学習しなければならぬ。

諸橋委員長 教員の採用試験が変わると、だんだんと教員離れが出てくるのではないかと思います。それで自治体はどうしていかなければいけないかという、支援員を準備してくるのです。

教育長 国でやる採用試験の共通一次化です。これから教員の希望者が少なくなる。

諸橋委員長 教員も色々なスキルを持たないといけない。教員の多忙化も解消されるのでは。

原田委員 学力調査の公表について。校長会で統一してやると決めればいいのか。

教育長 学校にどうしてもらうかではなく、教育委員会としてどうするのか、ということです。教育委員会としては公表しない、ということです。

諸橋委員長 各学校の校長が説明をすればよい。

教育長 保護者からも、「公表しないのか」という意見が出ていたが、「検討中です」の回答ということです。

— 議事 —

事務局長 報告第5号から報告第24号について説明

原田委員 どういう仕事をされているか等、報告があってもいいのではないかと。

諸橋委員長 「子どもと親の相談員」は、日誌や記録を報告してほしいです。

原田委員 努力されているのが見えないので。

諸橋委員長 特別支援教育支援員は、学校長に提出されていますね。

事務局長 ICT 支援員等も学校長に提出しています。

原田委員 教育委員会に提出する必要があるのではないかと。

事務局長 教育委員会にも提出されています。

諸橋委員長 教育委員会で見ることができるのですね。

原田委員 細かくなくてもいいので、報告が必要だと思います。

諸橋委員長 男女共同参画推進委員の中で、身体の具合が悪く十分な活動ができない方もおられるのではないのですか。配慮をお願いいたします。

宮下委員 男女共同参画推進委員は研修がかなり多くて、個々には役に立つが、町におろされているのでしょうか。

教育長 県の男女共同参画推進委員が大変なのです。

原田委員 どのような活動をするのか。

教育長 主に啓発活動です。

諸橋委員長 県の委員は電話活動もあります。DV とかね。しかし町の人たちに活動が見えていないのです。

(途中省略)

事務局長 総合教育会議について。

今年度に行わなければならない。輪島市は5月か6月に。能登町、珠洲市が今月終わり頃の予定と聞いています。教育振興基本計画の議案としてどのようなことをあげるのか。穴水町では、6月中を目処に行いたいと思っています。

教育長 主催は首長部局で、参加するのは首長と教育委員です。予算要求や、穴水町の教育をどのようにしていくのか、実行する施策をどう立てるか、教育委員は教育委員会の中立性を示す、でなければ、首長が変わる度に教育構想がかわっても困ります。事務移管で内容がわからないため事務を行うのは教育委員会になると思いますが、本来は首長部局です。新しい教育長は行政職になるので、予算等では言いやすくなるのではないのでしょうか。

諸橋委員長 私たちも力をつけていかなければならないです。会議の日程は6月中でいいですか。

事務局長 6月中に行いたいとおもいます。

(途中省略)

事務局長 教委連定期総会の件について。
宮下委員が表彰を受けられます。

諸橋委員長 出席方いかがですか。10時役場出発でよろしいでしょうか。
また、次回の定例教育委員会の日程はいかがですか。

不二井委員 26日、27日、28日の午後が大丈夫です。

諸橋委員長 では、次回の定例教育委員会は、5月28日(木)午後2時より開催いたします。

宮下委員 穴水小学校の相撲大会の日程は。

教育長 6月28日(日)です。

(途中省略)

諸橋委員長 4月28日に、県教委連理事会に行ってきますが、その中で、各教育委員会の重点取組みを発言しなければなりません。穴水町からは、何を出せばいいのでしょうか。

宮下委員 見守り隊の話の中で、先日、見守り隊をしていた時に「寒い中、僕たちのために、ありがとうございます。」という言葉に感心しました。反面、「あれ、今日は、おはようおじさんでないな。」という言葉。反応が違うことを感じました。坂下さんは、子どもの名前を全部覚えて対応されていたのに感心しました。

諸橋委員長 以上、これで定例教育委員会を終わりたいと思います。

以上

穴水町教育委員会会議規則（昭和 31 年教育委員会規則第 2 号）第 15 条第 2 項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教育委員（教育長）
